

環境省認定検定



本検定は環境省
「人材認定等事業」に
登録されております。

産業廃棄物適正管理能力検定

ご案内



環境貢献企業の実務と教育を支える。

C E R S I

一般社団法人企業環境リスク解決機構

Corporate Environmental Risk Solution Institution

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

本検定は、産業廃棄物の適正な処理の推進を通じて持続可能な開発目標
(SDGs)における「12 つくる責任 つかう責任」に貢献することを目指しています。



産業廃棄物のリスク、CERSI はこう考えます

日本で事業を営む企業であれば、必ず排出している産業廃棄物。

産業廃棄物の管理には複雑な規制がかかるつおり、正しい知識がなければ容易に法律違反を犯してしまいます。

また委託先でトラブルが起これば、自社の責任も問われ、数年前の管理状況にまでさかのぼって責任を追及されることになります。

こうしたリスクを防ぐためにも、正しい知識に基づく産業廃棄物管理を今から始めることが重要です。

産業廃棄物適正管理能力検定とは？



産業廃棄物に関する規制は複雑かつ広範であり、体系的に習得できる機会は今までほとんどありませんでした。

そこで CERSI は、廃棄物処理法を始め、各種リサイクル法や特措法など 「担当者が実務を行う上で知っておかなければならぬ知識」 を、検定試験という形でまとめ上げました。

本検定の受験を通じて、基礎的な知識からリスク管理に必要な知識まで、その習得度を客観的に測定することができます。

環境省による「人材認定等事業」登録事業

「産業廃棄物適正管理能力検定」は、2020年6月15日付で「人材認定等事業」に登録されました。

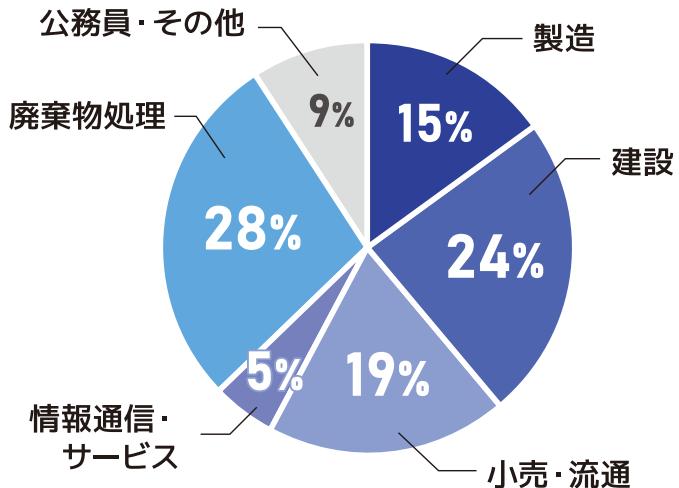
この制度は「環境保全に関する知識や、指導に係る能力を有する者等を認定する事業」を国が審査し、基準に適合しているものを登録するものです。



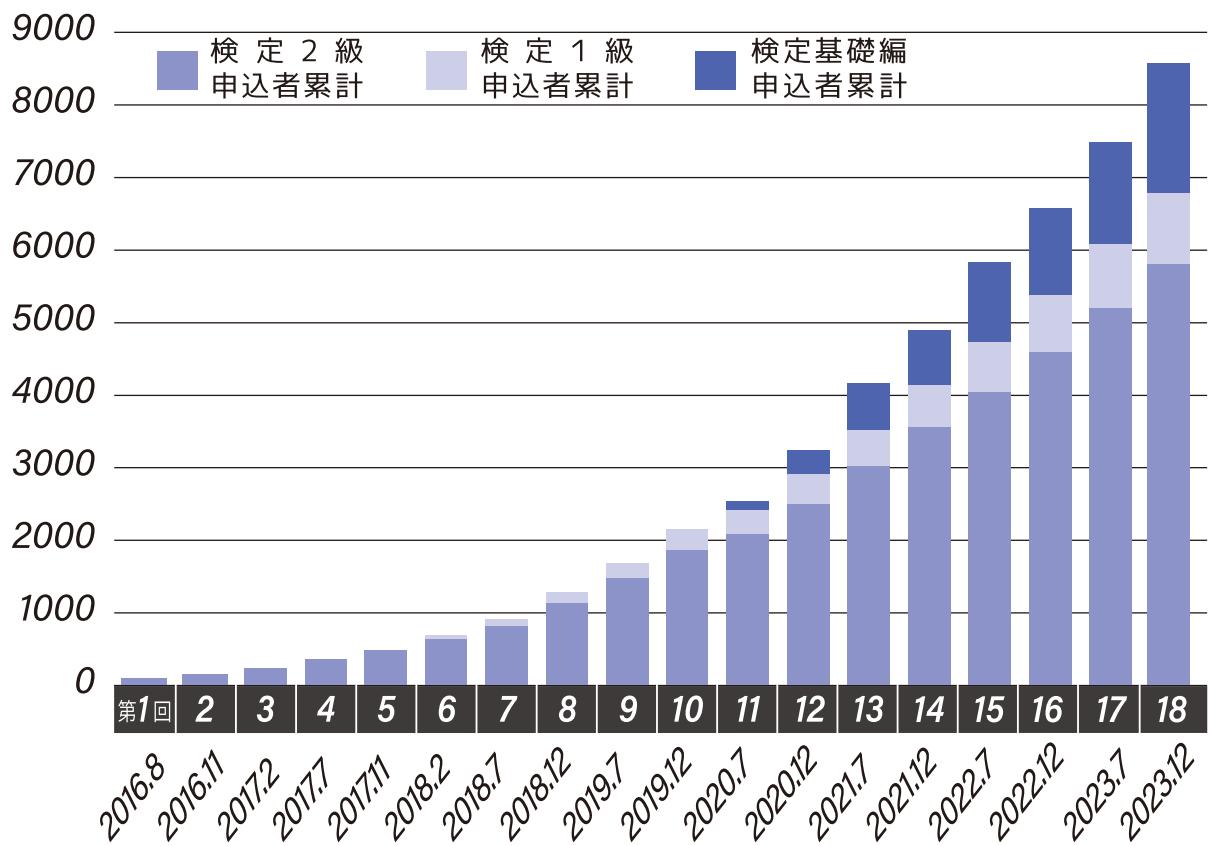
年々増加する、需要と実績

2016年に開始された本検定は、
2023年までに18回開催しております。年々受講者数は増加しており、累計では約9000名の方が受験しております。

開催エリアも年々拡大しており、
2024年現在は『札幌・仙台・東京・
名古屋・大阪・岡山・広島・福岡』
の全国8都市で開催しています。



検定受験者数の累計



検定試験のラインナップ・レベル分け



産業廃棄物適正管理能力検定

1級 建設系コース



産業廃棄物適正管理能力検定

1級 事業系コース

対象者

産廃管理の統括部門

産廃について指導する立場

産廃業務での経験が豊富な方 など

建設系・事業系の2コースで

高度な専門性を問う難関の検定



産業廃棄物適正管理能力検定2級

対象者

産廃管理に携わるすべての担当者

あらゆる産廃担当者にとって必要な知識を問う
決定版



産業廃棄物適正管理能力検定 基礎編

対象者

新入社員 / 新任担当者

現場の分別担当者 など

動画講座付きで社内教育としても
最適なオンライン検定

※『基礎編』の試験は合格できるまで何度も挑戦することができます。

※『基礎編』はオンライン検定なので、ご自宅・職場などどこからでも受験することができます。

検定1級・2級における成績表について

本検定に合格していただくことは大事なゴールの1つですが、受験者の皆様には検定への学習を通じ、産業廃棄物の実務を適正に行うための基礎知識を体系的に学んでいただきたいと思います。 検定を受け終わった後も、まだ理解の浅い分野を確認し、必要な知識を確実に身につけることが必要です。

本検定の成績表には、間違えやすい問題・分野に対応したアドバイスが載っています。公式テキストの該当ページも掲載しているので、どこを復習すれば良いのか、何を勉強すれば良いのかが一目で分かります！(検定2級・1級共通)

POINT 1

公式テキストの該当ページを掲載
復習すべき場所が一目で分かる！

POINT 2

重要な問題と解説を掲載。
必ず抑えておくべき内容を網羅！

分野1. 区分と定義	
項目 公式テキストの タイトル(節)/ページ	産廃と一廃の処理委託の違い 一般廃棄物とは P.41 - 42
項目 公式テキストの タイトル(節)/ページ	産業廃棄物はどれか 産業廃棄物とは P.37 - 38

分野2. 自治体・罰則	
項目 公式テキストの タイトル(節)/ページ	事前協議制度 廃棄物の地域外搬入に関する規制

※画像はイメージです

POINT 3

試験で最も正答率が低かった問題を掲載
間違えやすい内容を確認できる！

試験対策も豊富なラインナップ

関連書籍

検定公式テキスト（第5版）

2019年の第4版発刊以降の法改正や最新動向を盛り込んだ最新版！

検定試験対策はもちろん、実務の参考書としてもご好評を頂いている、**産業廃棄物担当者必携の一冊**です。



検定公式問題集（第5版）

- ・産廃管理の重要ポイントを問う**50以上**の豊富な**厳選問題**で本検定の様々な出題形式をシミュレート可能。
- ・公式テキスト第5版に**完全対応**。
- ・収録問題全問の詳細な解説に加え、キーポイントやコラムなど、**検定対策のヒント**を多数収録。



【通信教育】産業廃棄物適正管理能力検定 合格講座

公式テキストをベースに、副読本や学習ガイドなどで構成されており、計画的に学習を進められるよう設計されています。

模擬試験を含む2回の添削問題や講師への質問サービスが含まれており、

- ・自分の理解度の把握
- ・出題のイメージ作り
- ・疑問点の解決

などを行うことができます。

※検定2級のみ対象。検定1級向けの通信教育はございません。

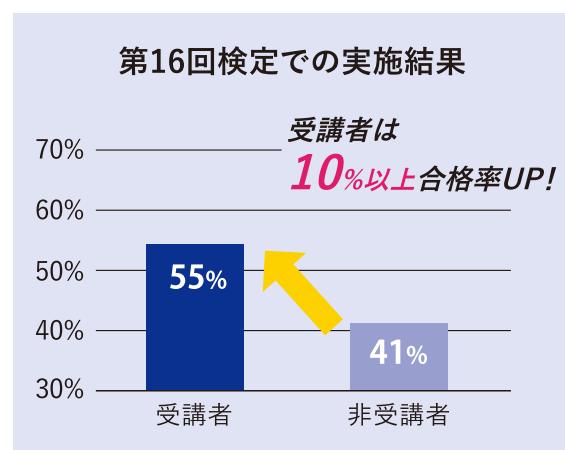
※WEB講座は付属しておりません。

事前対策セミナー WEB講座

検定試験合格を目指す方に、最もおすすめのセミナーです。
過去の検定試験問題の出題をもとにした豊富な演習問題を中心に、
検定合格に向けた最重要ポイントを効率的に網羅します。
WEB 講座なので、ご自宅・職場などからいつでも受講できます。

検定2級事前対策セミナーの特徴

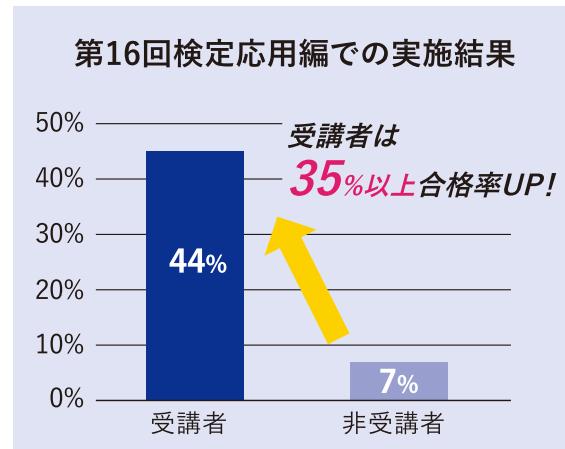
1. 公式テキストの内容から、試験に出やすい重要ポイントを短時間で網羅。
2. 本セミナー限定で実際に過去に出題された問題を元にした豊富な演習問題。



検定1級事前対策セミナーの特徴

1. **公式テキスト外**からの出題に向けた、各コースの頻出トピックの確認。
2. 論述式問題の添削サービス付き！

※「建設系コース」と「事業系コース」の共通の対策セミナーになります。



産業廃棄物適正処理管理士の概要

「産業廃棄物適正処理管理士」は企業で産業廃棄物の管理を担当する方を対象に、必要な知識を習得・維持していることを証明する資格制度です。

当機構が産業廃棄物適正管理能力検定に合格した方のうち、資格登録を申請された方を認証して「産業廃棄物適正処理管理士」の称号を与えます。

資格登録者は検定試験に合格した年の翌年度から3年間保持することができます。

資格の区分

合格した検定の種類

登録できる資格の区分

検定2級

産業廃棄物適正処理管理士2級

検定1級 建設系コース

産業廃棄物適正処理管理士1級 建設系コース

検定1級 事業系コース

産業廃棄物適正処理管理士1級 事業系コース

登録のメリット

Point 1.

携帯に便利なカード式の資格証を発行します。

カード式資格証の発行



Point 2.

産廃質問窓口を提供

業務の中での産業廃棄物に関する疑問にCERSIがお答えします。

※原則としてメールでの質問に限ります。また、質問内容によっては回答を行えない場合もございます。



資格登録者
おすすめオプション

CERSI TOPICS配信

最新の法改正情報やよくある問い合わせ回答など産業廃棄物関連のトピックスをメールにて配信します。



資格の更新・アップデート対象セミナーの概要

産業廃棄物適正処理管理士の有効期限を更新するためには、3年ごとにアップデート対象セミナーを受講することが必要です。

このセミナーは、最新の法規制の確認や基本的な知識の再確認を行い、産廃担当者としての能力を維持・向上するためのものです。

資格更新をご希望の方以外もご受講いただけますので、検定は受けたことがないけれど、最新情報を確認されたい方などにもおすすめのセミナーです。

資格者の声・活用事例

- ・社内での産廃対応を指導する立場であり、検定試験で自分の実力を測るのと同時に、資格を取得することでその実力の明確な証明として利用している。
- ・日常の産廃処理業務の中で、自分で調べても分からぬようなことがあった際に、質問を受け付けてくれるので解決に役立っている。
- ・検定に合格した社員には、資格の登録までさせている。アップデート対象セミナーがあるので、継続して学習することを促すことが出来ている。

検定試験問題について

産業廃棄物適正管理能力検定の最大の特徴は、クオリティの高い検定問題にあります。

排出事業者の産業廃棄物管理担当者に求められる知識水準を問う問題をコンセプトに、実務に直結する問題にこだわって出題しております。作問はすべてオリジナルとなっており、より有意義な出題を目指して外部有識者を含む検討委員会で徹底的に議論されます。

本検定の問題に取り組んでいただくことで、産廃担当者として必要な知識を網羅的に取得していただくとともに、実務の様々な場面で役立つ「生きた知識」を身に着けていただくことが可能です。

検討委員会について

産業廃棄物適正管理能力検定の問題作成は、産業廃棄物管理の第一線で活躍する外部有識者による検討委員会にて行われています。検討委員会は、学識者、行政書士、環境コンサルタント、排出側・処理側の各業界の現役の産業廃棄物担当者など、産業廃棄物管理の実務に豊富な知識と経験を持つ、多様な有識者で構成されています。

機構概要

機構名	一般社団法人企業環境リスク解決機構
英文名称	Corporate Environmental Risk Solution Institution
代表理事	上川路 宏
設立	平成27年7月
所在地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル4階
TEL	03-6435-7747
Mail	info@cersi.jp
事業内容	解決マネジメント 環境対策支援 検定事業の運営

検定2級 / 検定1級 概要

試験日程	毎年度2回（7月、12月予定）
試験会場	全国8カ所 (札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・岡山・広島・福岡) ※2024年4月時点
受験資格	特に制限はありません。
受験料	9,350円(税込) (5名様以上で団体割引あり)
試験時間	90分 ※40分経過後～試験終了5分前までは退出可能(再入場不可)
合格基準	得点率70%以上
合格発表	試験後、約1か月後
詳細・申込方法	当機構ホームページから ご確認、お申し込みください。 https://www.cersi.jp
	当機構HPはこちら▶ 